第二中学校だより

正しく　強く　美しく

青梅市立第二中学校
令和８年１１月２日

歌い継ぐ校歌、つなぐ８０年

校長　後藤 英二

１０月１４日、創立８０年記念合唱コンクールを開催しました。各学級がそれぞれの目標に向かって練習を重ね、本番では仲間と心を合わせて歌声を響かせました。歌い始める前の緊張した表情、指揮者や伴奏者を見つめる真剣な眼差し、そして歌い終えた後の晴れやかな笑顔。その一つ一つから、合唱に向けて努力を積み重ねてきた日々と、生徒たちの確かな成長を感じることができました。

合唱は、一人一人の声を重ねることで、一つの豊かな響きを生み出します。自分の役割を果たすことはもちろん、仲間の声に耳を傾け、互いの思いを受け止めながら歌うことが大切です。思うように声が合わない日もあったことでしょう。それでも、よりよい合唱を目指して工夫を重ね、仲間と励まし合ってきた経験は、歌声だけでなく、学級の絆を深めることにもつながったのではないでしょうか。



今回の記念行事では、本校校歌の作曲者の榊原悠一先生に直接お会いし、曲に込められた思いや作曲当時の学校の様子について、お話を伺うことができました。校歌は、日々の学校生活の中で歌い継がれてきた身近な歌です。しかし、その誕生の背景や作曲者の先生がどのような願いを込められたのかを知る機会は、決して多くありません。榊原先生のお話を伺い、校歌の歌詞や旋律に耳を傾けることで、これまでとは違った思いで校歌を感じることができました。

閉会式では、生徒会長が榊原先生から伺った校歌に込められた思いや当時の学校の様子を全校生徒に伝えました。創立当時から今日まで、本校で学んだ多くの先輩たちが、同じ校歌を歌い、学校の歴史をつないできたことを思うと、校歌は単なる歌ではなく、本校の歩みや人々の願いを今に伝える大切な財産であることに気付かされます。

その後、全校生徒で心を込めて校歌を合唱しました。ホールに響き渡る歌声には、榊原先生への感謝、本校を築いてこられた方々への敬意、そして創立８０年の歴史を受け継いでいこうとする思いが込められていたように感じます。生徒たちが校歌に込められた願いを知り、自分たちの声で歌い継いだことは、記念の年にふさわしい、心に残るひとときになりました。

創立８０年の節目に合唱を通して、仲間と心を合わせ、校歌を通して本校の歴史と願いに触れたことは、生徒たちにとって大切な学びとなったことでしょう。校歌に込められた思いを胸に、これからも本校の伝統を大切にしながら、一人一人が自分らしく成長し、新たな歴史を築いていくことを願っています。

校歌は、これからも折に触れ歌われ、そのたびに新たな思い出を生み出していくことでしょう。生徒一人一人が校歌に込められた願いや先人から受け継いだものを心に刻み、自分たちの時代にふさわしい学校の歴史を築いていくことを期待しています。そして、未来の生徒たちが、この校歌を歌う時、今の生徒たちの姿や思いもまた、その歌声の中に受け継がれていることを願っています。

１０月のできごと

１０月１４日（水）合唱コンクール

創立８０年記念合唱コンクールを、羽村市のプリモホールゆとろぎにて開催しました。「魅せる輝き　未来へ響かせ　合唱の輪」というスローガンのもと、各学年、各クラス、全員の力を合わせて美しいハーモニーを作り上げ、ホールに響かせることができました。



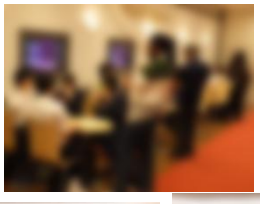


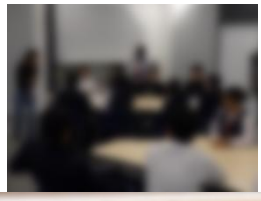


１０月２６日（火）英語教育ＴＧＧ

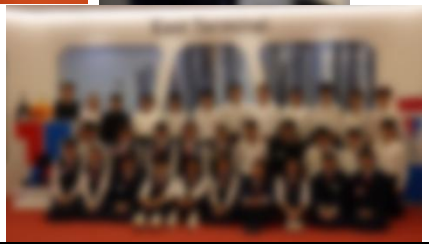
ＴＧＧ（東京グローバルゲートウェイ）での英語学習に、２年生が参加してきました。１班５～８人のグループに１人のエージェントがついて、買い物や空港、レストランでのやりとりをしたり、特定のテーマについて、グループのメンバーやエージェントとの話し合いや作品作りを通して学んだりと、一日中英語でコミュニケーションを楽しみました。













１１月の予定

1	日		16	月	領域診断テスト(2)
2	月	安全指導　領域診断テスト(3)　ＡＥＴ始	17	火	英検ＩＢＡ
3	火	文化の日	18	水	ソフトボール大会(Ⅰ)　専門委員会
4	水	Ｂ時程・昼学活　職員会議	19	木	避難訓練　ＳＣ
5	木	ＳＣ	20	金	校外学習(Ⅰ)　ESAT-J 事前指導(3)
6	金	新入生保護者説明会　ＡＥＴ終	21	土	
7	土		22	日	ESAT-J YEAR3
8	日		23	月	勤労感謝の日
9	月	朝礼	24	火	ＡＥＴ始
10	火		25	水	(放)作品展準備
11	水	期末考査（理・音・社）	26	木	ＳＣ
12	木	期末考査（英・国）	27	金	ＡＥＴ終
13	金	期末考査（数・保体・技家）	28	土	新入生制服採寸
14	土		29	日	
15	日		30	月	全校面談・作品展始

ＡＥＴ…英語指導助手勤務日　ＳＣ…スクールカウンセラー勤務日